

図書館

文化センター 1階
☎98514140

ふるさとライブラリー
案内

◆巡回図書を行っています

平成26年11月より、教育施設や各種団体を対象に、団体巡回図書貸出を始めました。

現在、小学校や幼稚園で巡回図書を利用しているところがあります。

先生からは、「図書館の本が身近な場所にあると、子どもたちも大喜び」と好評です。

詳細については、ふるさとライブラリーまでご連絡ください。



おはなし会

お子さんの感性や情操を育てる楽しい時間です。親子での参加をお待ちしています。

- 日時 3月21日(土) 11時～11時50分
- 場所 文化センター 2階第2研修室

3月のふるさとライブラリー

- 開館時間 9時30分～19時
- 休館日 31日(火)
- http://www.masaki-bunka.jp/

東公民館

神崎210
☎98411159

スノーボード
体験教室

1月17日、北伊予小学校の4～6年生24人が、久万スキーランドでのスノーボード体験教室に参加しました。この教室は、雪のあまり降らない北伊予に住む小学生に、スノーボードの楽しさを知ってもらう教室です。毎年、すぐに定員いっぱいとなる人気の高い教室となっています。当日、ボードをつけ、さっそうとゲレンデに飛び出していった子どもたち。冬の厳しい寒さもどこ吹く風とばかりに、何回も転んでは元気に起き上がり、チャレンジを続けていました。帰りの車中では、「スピードが出てすごく速かったから怖かった」「来年も参加したい」「また、家の人に連れてきてもらおう」と大満足の様子でした。



フランス人は10着しか服を持たない

ジェニファー・L・スコット 著 / 大和書房

上質な物を少しだけ持ち、大切に使う。日常の中にささやかな喜びを見つける。フランスにホームステイした著者が、エピソードやユーモアを織り交ぜ、学んだ上質な生き方を紹介します。



鼠、滝に打たれる

赤川次郎 著 / KADOKAWA

義に篤く人に優しい天下の大泥棒、鼠小僧次郎吉。ある日、次郎吉と微妙な距離を保つ女医の千草に縁談が。そのとき次郎吉は…



はじめての手づくり科学あそび 2

西博志 著 / アリス館

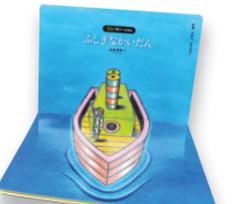
おもちゃ作りは科学の入り口!?! 身近にある材料で、虫めがね望遠鏡、影絵シアター、とりかえウクレレなどの作り方と遊び方を紹介します。



ふしぎなかいだん

永井 秀幸 著 / 金の星社

背表紙を下にして本を立て、1ページずつ手前に倒して正面から片方の目だけで見ると、絵が飛び出して見える3D絵本。カメラなどで撮影すると、もっと飛び出して見えます。



西公民館

北黒田966-2
☎98415313

放課後子ども教室
親子ふれあい活動

地域の中で、子どもたちが安全で安心して健やかに育まれることを願って開かれている「放課後子ども教室」は、今年で7年目になります。毎週金曜日は、西公民館が子どもたちの笑顔と笑い声に包まれます。今年は、活動を通して親子の絆を深めようと、「親子生け花教室」「親子でお抹茶を」など、親子で取り組む活動を多く取り入れました。1月23日には、「親子でたこ作りを楽しもう」をテーマに、松前小学校の運動場で悪戦苦闘しながら、親子で協力して作ったたこを揚げました。たこ糸を全て伸ばして80mの高さまで揚げて大満足の親子に、走り回って汗びっしょりの親子。歓声の絶えない金曜日の午後でした。



包括支援センター

福祉センター 2階
☎98514205

花粉症

花粉症は、スギ、ヒノキ、シラカバなどの樹木やブタクサ、ヨモギなどの草花の花粉が原因となるアレルギー性の病気です。体質により個人差があるほか、発症する確率は、花粉を吸ってきいた量に関係するため、大人が発症しやすくなります。

◆花粉の症状

鼻：「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」

目：「かゆみ」「涙目」「充血」

※重症になると、食欲減退、全身倦怠(けんたい)感などの全身症状も現れます。

◆治療

①薬物療法…薬で、右の症状を引き起こす化学物質の働きを阻害する。

②減感作療法…原因となる抗原(花粉)を少しずつ増す注射で免疫をつくり、症状を弱める。

③手術療法…鼻の粘膜の一部をレーザーで焼き、症状が起らないようにする。

◆花粉症セルフケア

・花粉の飛散が多くなる13時～15時ごろの外出を控える。

・マスク、眼鏡や帽子を着用して外出する。

・帰宅時、玄関で付着した花粉をはたき落とす。

・掃除をこまめに行い、布団は外に干さない。

・加湿器を利用し、花粉の空中の浮遊を防ぐ。

・お風呂・シャワーで花粉を洗い流す。

北公民館

昌農内456-1
☎98417529

公民館研究大会

「公民館大会での大川さん、よかったですね」「北川原の様子がよく分かった発表でしたね」これらは、2月1日に開かれた公民館研究大会で発表を行った北川原分館への感想です。初めて分館主事となった大川主事は、「好きです北川原! ふるさとおもしろ歴史散歩」をテーマに発表し、参加者を大いに魅了しました。また、この役割を機会にあいさつを交わしていくことで多くの人を知り、散歩コースを考えていくことで地域を深く知り、行事に関わることで地域をさらに好きになっていったとまとめたのも印象的でした。岡田地区8分館が共に元気が出る地域づくりのため励んでいたことに感謝しています。今後も共に知恵を出し合っていきましょう。

